

医療だけでなく、あらゆるデータを活用して社会を拓く 「生きる」を再発明する

データサイエンス・情報基盤：Person-centered Open Platform for wellbeing



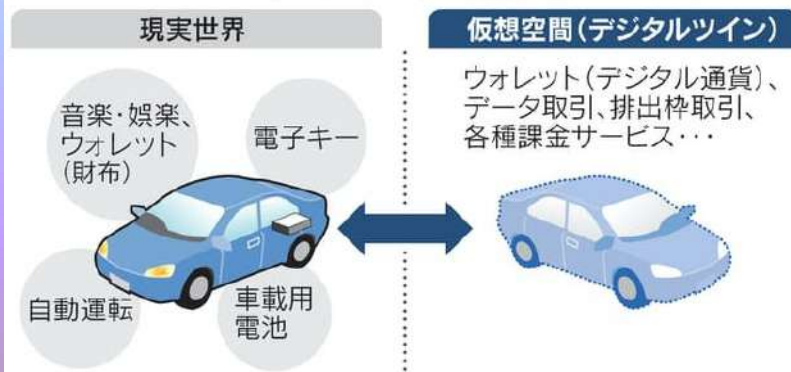
Apple Carが拓く未来

まだ捕捉できない経済価値を探る

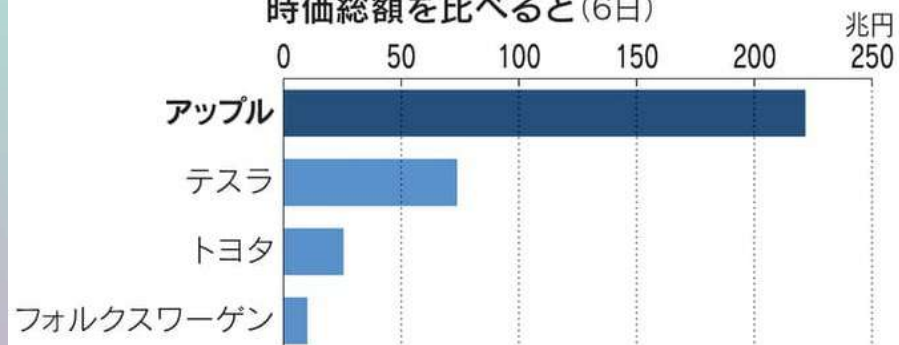


アップルのティム・クック最高経営責任者=ロイター

アップルが持つとみられる技術(車はイメージ)



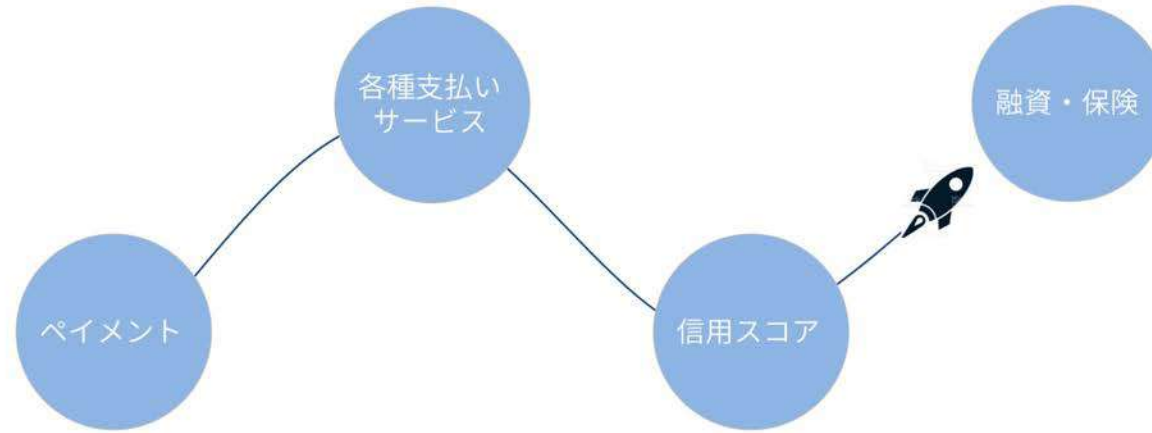
時価総額を比べると(6日)



日本経済新聞2021年1月12日 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQODB06BOQ0W1A100C2000000>

データ選定と収集には戦略が必要

「データはとりあえず集めて貯めておくと、そこから新しい何かが生まれる」という論調もありますが、圧倒的なデータ量とデータ解析力があるプレイヤーの論理です。アリババのロケット戦略のように複合的な出口を想定しておく必要がありますし、活用の出口を複数用意して収集データを絞り込むことで費用対効果が高まります。



※要するに、データを適当に貯めて使う権利があるのは優秀なデータサイエンティストと大量のアクティブユーザがいるデータ企業であり、そうでない企業はUX企画を踏まえた戦略性でデータを選定していくしかない。
この辺りはUXの専門家とAIの専門家を同居させて、一緒に実施すべきかと思います。

© 2020 beBit, Inc. All Rights Reserved.
www.bebit.co.jp

EV大手のテスラが世界展開を加速 株価上昇で時価総額が自動車メーカーで世界1位

小久保重信 | 株式会社ニュースフロント フェロー
3/12(金) 18:36

ツイート シェア B! ブックマーク

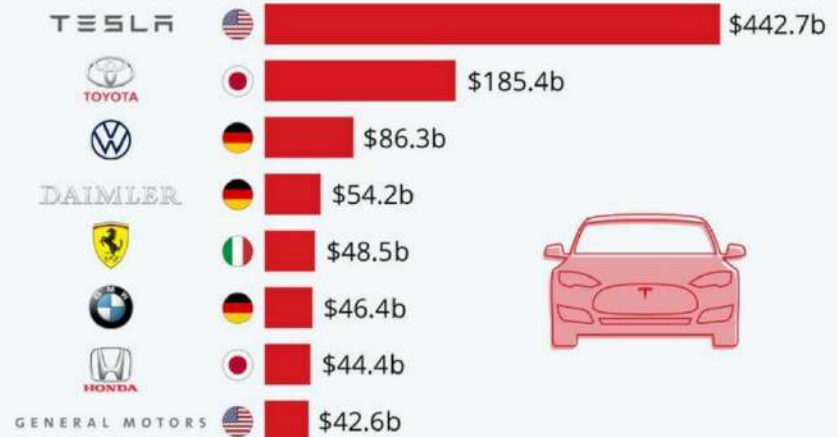


テスラのイーロン・マスクCEO (写真:ロイター/アフロ)

米電気自動車 (EV) 大手のテスラは先ごろ、中国工場で生産した小型SUV (多目的スポーツ車) 「モデルY」の納車を開始した。モデルYは中国生産のテスラ車として、主力の小型セダン「モデル3」に次ぎ2車種目となる。

Tesla's Market Cap Dwarfs Automobile Giants

Market capitalization of publicly traded car manufacturers (as of September 1, 2020)



Source: Yahoo Finance

豊かさの指標の転換

Well-beingの定義の拡張

PROJECT

EXPO 2025

リーマンショック

このような流れを先進諸国の枠組みで強固なものとしたのが、「**スティグリッツ報告書(2009)**」である。この報告書は2008年にフランス大統領のニコラス・サルコジの要請により立ち上げられた「経済パフォーマンスと社会プログレスの測定に関する委員会」の報告書として公表されたものである。コミッションの目的は、(一人あたり) GDPを唯一の経済パフォーマンスと社会プログレスの指標とすることの制約を受けて、どのような補完する情報が必要であり、どのような指標が適切であるかを議論し、それに基づく提案を行うことである。報告書に含まれるキー・メッセージは二つである。一つ目のメッセージは、現代のウェル・ビーイング (current well-being) の評価と、持続可能性 (sustainability) の評価は異なるものであるということである (p.11)。その上で、コミッションは、「**伝統的なGDPの問題**」「**生活の質**」「**持続可能性**」の三つサブグループに分かれて、議論を行っている。二つ目のメッセージは、**経済的生産を測ることから、人々のウェル・ビーイングを測ることへの重点移動**である。報告書は、**ウェル・ビーイングは多次元的な概念**であり、

- | | |
|----------------------|------------------|
| i.物質的生活水準 (所得、消費、資産) | V.政治的発言力と統治 |
| II.健康 | VI.社会的つながりと関係性 |
| III.教育 | VII.環境 (現在および将来) |
| IV.個人の社会的活動 (就労を含む) | VIII.経済的、物理的な安定 |

の次元の要素に規定されるとする。現行の所得を軸とした計測は、これから多くの次元を反映しておらず、改善が必要である。報告書は、キー・メッセージをより形のあるものとするために

HWBアプローチ2008、SDGs

「人間のよき生」 (**Human Well-Being**: HWB) の実現は、人間社会の目標であり、経済活動の意義はその達成にある。伝統的な経済学あるいは新古典派経済学では、HMBは主観的・心理学的な「幸福」 (Happiness) として概念され、基本的に「効用」 (Utility) の大きさとして評価される。あるいは主観的効用を実現する手段として財とサービスの束を表す実質所得水準あるいは消費水準によって計測されることになる。この伝統的な経済学の本質的な概念的枠組みは長く批判の対象となってきた。伝統的経済学の体系の中からその志向性あるいは性癖を批判的に検証、吟味した一人が、**アマルティア・セン**である。センは、人の厚生あるいは「よき生」 (Well-Being) を評価する「情報的基礎」として排他的に「主観的効用」と「財」 (財とサービスの束) に焦点を当てる新古典派経済学の枠組みと性癖を批判的に吟味している (Sen 1985;1992;1999)。最終的な主観的効用の大きさに固執する性向を「帰結主義」 (Consequentialism) であるとし、また厚生評価の「情報的基礎」として所有 (財と束) という物的・外的手段の量を厚生の情報的基礎とすることの限界性と不適切性を指摘した。



GDP



Well-being

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策 に関するメルケル首相のスピーチより



今の再生産数(R_0)は1の段階なので、ある人によって感染となるのは、「一人」のみです。1つの感染経路で一人が別の人を感染させる話で、これはある人が別の人に感染する平均値です。

感染する人が1.1人になれば10月までに集中治療室の数を想定した保健システムの容量レベルに達します(医療崩壊になります)。1.2人になれば、すなわち全員が20%多く感染しますと7月には医療システムの限界に達します。1.3人になると6月には医療システムの限界に達します。